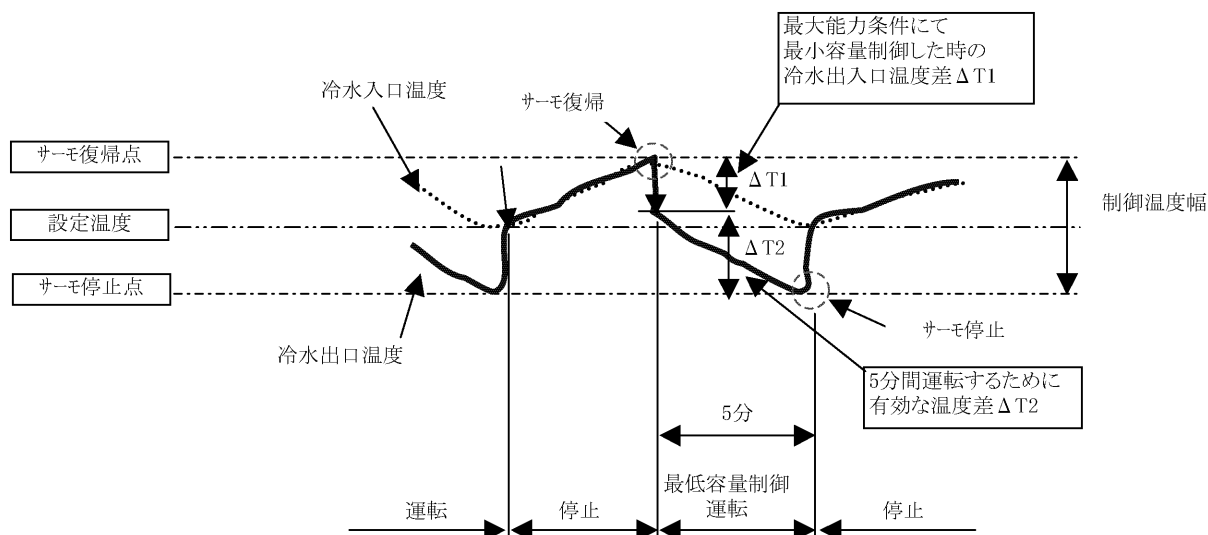


作成	06-10-10 石本	改定			
検認	大塚	改定			

必要システム総水量の計算 <空冷リングユニット CA-P1180F形 60Hz>

冷房運転時

必要システム総水量は、ユニットの最大能力条件で、且つ最小容量制御運転にて圧縮機が5分間運転するために必要なシステム水量を示します。  
(尚、5分間は圧縮機運転後、冷媒系統が安定するまでの概略時間を示します)



① 最大冷却能力:  $Q_{cmax}$

外気15℃、冷水出口温度15℃時の冷却能力を示します。

$$Q_{cmax} = 170.4 \text{ kW}$$

※流量は標準仕様流量 = 21.5 m<sup>3</sup>/h

② 最小容量制御%

CA-P1180Fの場合、最小容量制御は10%。

③ 最小容量制御運転時の冷却能力:  $Q_{c1}$

$$Q_{c1} = \text{最大冷却能力 } Q_{cmax} \times \text{最小容量制御\%}$$

$$= 170.4 \times 860 \times 0.1 = 14654 \text{ kcal/h}$$

④ 最小容量制御運転時の冷水出入口温度差:  $\Delta T1$

$$\Delta T1 = \text{最大冷却能力 } Q_{cmax} \times \text{最小容量制御\%} / \text{流量(仕様流量)}$$

$$= 170.4 \times 860 \times 0.1 / (21.5 \times 1000) = 0.68 \text{ }^\circ\text{C}$$

⑤ 5分間運転するために有効な温度差:  $\Delta T2$

$$\Delta T2 = \text{制御温度幅} - \Delta T1 \quad \text{※制御幅} = \pm 1 \text{ }^\circ\text{C}$$

$$= 2 - 0.68 = 1.32 \text{ }^\circ\text{C}$$

⑥ 必要システム総水量:  $W_c$

$$W_c = (Q_{cmax} \times (\text{最小容量制御\%} - \text{最低負荷\%}) / 100 \times \text{最小運転時間}(5 \text{分}/60 \text{分}) / \Delta T2$$

$$= (170.4 \times 860 \times (10 - 5) / 100 \times 5 / 60) / 1.32$$

$$= 462.5 \text{ リットル}$$

上記より、冷房時はシステム総水量「462.5リットル」以上が必要です。

※最低負荷はユニット最小容量制御10%の半分5%と仮定して算出しました。